

# 令和2年度 予算編成方針



令和元年10月11日

# I 令和2年度予算編成のポイント

## 課題解決先進県を目指し、徹底したスクラップアンドビルドを通じた事業のさらなるバージョンアップを促進

- 「課題解決先進枠」を引き続き設定し、課題解決先進県を目指した事業への重点的な配分を実施。
- 「課題解決先進枠」への要求に際しては、既存事業を積極的に見直し、創意工夫による事業の組み替え・バージョンアップを促進するため、前年度予算から削減した額の1.5倍（※一般財源ベース）まで要求可能。
- 費用対効果の観点から既存事業について積極的な見直しを実施し、課題解決先進県を目指した取り組みを推進するため、経常的経費は△5%のシーリング。
- 既存事業のスクラップアンドビルドを徹底するため、予算要求前に全庁的な協議を実施し、その結果を当初予算要求に反映。
- 行政事務の抜本的な効率化や県民サービスの向上、行政課題の解決と産業振興を図るため、デジタル化を推進。

## 南海トラフ地震対策・豪雨災害対策の推進

- H31.3策定の「第4期南海トラフ地震対策行動計画」に掲げた目標を達成するために必要な新規、拡充等に係る経費を積み上げ。
- 平時から、ハード・ソフト両面で豪雨災害対策などを検討、実施することで、防災・減災対策を推進。

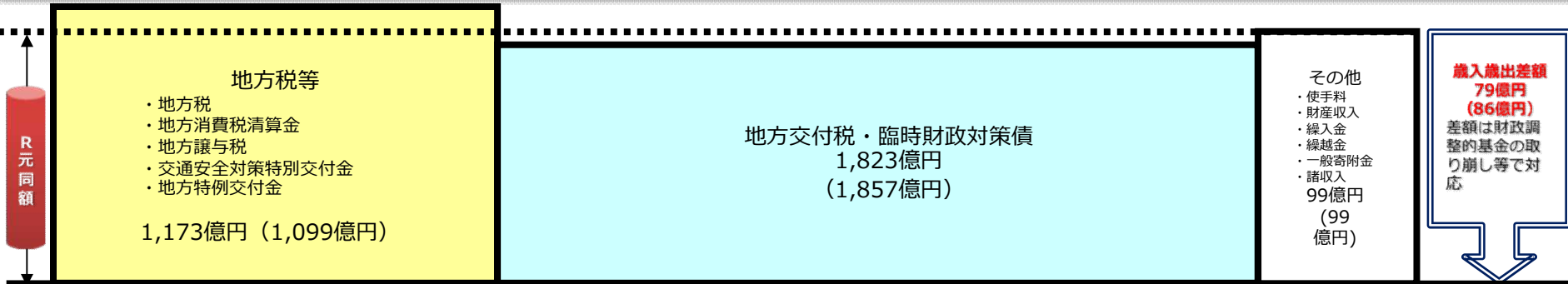
## インフラ整備の推進と財政の健全化の両立

- 県民の安全・安心の確保と地域経済の活性化を目指すため、インフラの整備と有効活用を推進。
- 引き続き、国の3か年緊急対策等の有利な財源を最大限活用し、防災・減災に資するインフラ整備を加速。
- 臨時財政対策債を除く県債残高の水準に留意しつつ、PDCAサイクルを通じた徹底的な事業見直しを実施。

## 国の動向の把握と県予算への反映

- 歳入・歳出改革の議論など、国の動向に留意し、積極的に情報収集を行い、本県への影響を見極めた上で確実に予算に反映。

# II 予算要求フレームの考え方



歳入予算 3,095億円 (一般財源ベース) (3,082億円) / R元当初比0.4%増

歳出予算 3,174億円 (一般財源ベース) (3,168億円) / R元当初比0.2%増

「課題解決先進枠」 既存事業の見直し等による新規事業  
「南海トラフ地震対策の推進」 必要経費を積み上げ

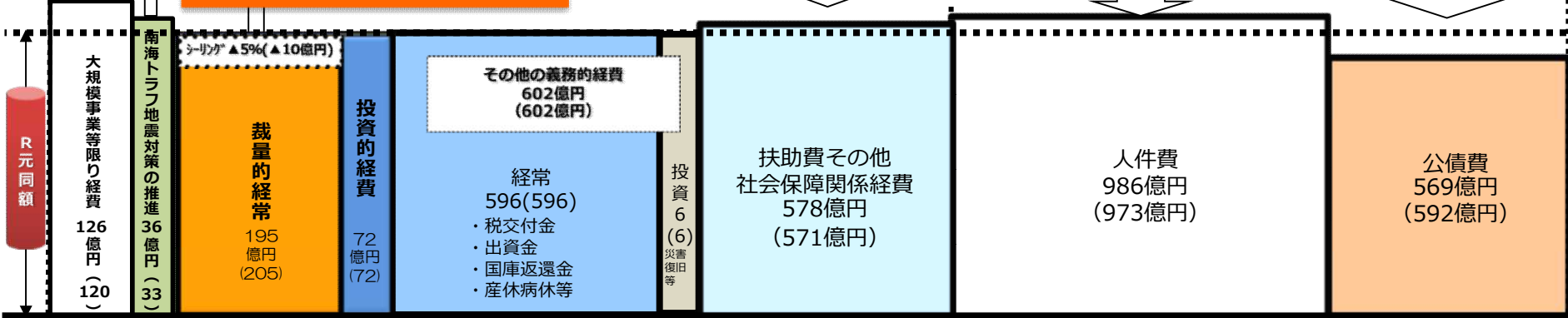
既存事業のスクラップ&ビルドを徹底し、各事業のバージョンアップを促進するために裁量的経常経費にマイナスシーリングを設定し、課題解決先進県を目指した新たな事業への重点配分を行う

【課題解決先進枠】  
R元比削減額×1.5倍まで要求可

積み上げ・自然増  
扶助費+1.4% (1億円)  
社会保障+1.4% (6億円)

積み上げ  
退職手当の増 等  
+1.3% (+13億円)

積み上げ  
△3.9% (△23億円)



裁量的経費439億円(430)

義務的経費2,735億円(2,738)

スクラップアンドビルド対象範囲

(注) ・「今後の財政収支の試算について (R元.9.13)」に基づき算出。  
 ・金額は注釈がない限り一般財源ベース。限度額を示すものではない。  
 ・歳出予算は、退職手当債・行政改革推進債50億円の充当を見込む。  
 ・人事委員会勧告 (R元.10)の影響は加味していない。  
 ・( )は令和元年度当初予算。そのうち歳入予算計は、一般財源扱いした交付金等の一部 (27億円)を含む。

# Ⅲ 予算編成の主なスケジュール（予定）

<p>令和元年</p> <p><b>10月</b></p>	<p>○ <b>11日 予算編成方針通知</b></p>	<p>全庁的なスクラップ アンドビルド協議</p>
<p><b>11月</b></p>	<p>○ 11日 予算見積書提出期限 ○ 20日 予算見積概要公表資料財政課提出期限</p>	<p>協議結果を当初予算 要求に反映</p>
<p><b>12月</b></p>	<p>○ <b>中旬 当初予算見積概要の公表</b></p>	<p>スクラップアンドビルド の状況について公表</p>
<p>令和2年</p> <p><b>1月</b></p>	<p>○ 上旬 財政課長内示 ○ 中旬 総務部長協議、総務部長内示 ○ 下旬 知事査定</p>	
<p><b>2月</b></p>	<p>○ 中旬 当初予算案記者発表</p>	